

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	林業基盤整備事業			事業番号	20-105
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部	辻 雅弘	農業振興課農林整備担当	樋口 明	

計 画 (Plan)

総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち	
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり	
		施策展開の方向	1	地域の産業がさかんなまちをつくる	
		施策	20	地域とつながる都市農業・林業づくりの推進	
予算事業名	林業基盤整備事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	できる規定がある
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	-
関連法令等	森林法、県補助金交付要綱(地域林業形成促進事業、水源の森林づくり協力協約事業)				
国・県の計画等	かながわ森林再生50年構想、県地域森林計画			計画期間	平成23年度～
関連個別計画	伊勢原市森林整備計画			計画期間	平成23年度～
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	森林は、地域に安全で快適な自然環境を提供すると共に、保安林としての豊かな水資源を確保する機能を有しています。森林の公益的機能を確保するため、森林の管理施策を積極的に推進し、自然環境の保全と社会的公益機能の確保に努める必要があります。				
目的 (何をどうしたいのか)	水源林管理道の整備により、適切な森林施策を進め、森林の持つ公益的機能の確保を図ることを目的とします。 ・林産物(木材) 約500m3の搬出				
主な対象 (誰・何を対象に)	民有林				
事業内容 (手段、手法など)	・水源林管理道の整備を推進していきます。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	作業路	工事実施		工事実施	
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	水源管理道の整備延長	L=1,031m	L=1,050m	L=1,050m	

 事業実施 (Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	・委託先と事業執行の調整を図り、着実に年度内に完了できるよう計画的に整備を進めます。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	作業路	工事実施	工事実施
実施した取組の内容	作業路L=711m整備		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	水源管理道の整備延長	L=1,031m	L=1,101m
			L=711m

コスト	年度		28年度 実績				29年度 実績			
		事業費合計 (a)		8,775	千円	6,351		千円		
内訳	国県支出金 ①		7,897	千円	5,348		千円			千円
	地方債 ②		0	千円	0		千円			千円
	その他特財 ③		0	千円	0		千円			千円
	一般財源 (a)-①-②-③		878	千円	1,003		千円			千円
国県支出金の内容		神奈川県協力協約推進事業補助金(県90%市10%)								
その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期						
	その他									
人件費	正規職員		0.13	人	1,125	千円	0.13	人	1,135	千円
	その他の職員		0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円
	人件費合計 (b)		0.13	人	1,125	千円	0.13	人	1,135	千円
トータルコスト (a)+(b)				9,900	千円			7,486	千円	
単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位	市民		単位		
		対象数	101,635	人	102,037		人			
	総事業費 / 対象数	97	円	73		円				

評価 (Check)へ

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	<ul style="list-style-type: none"> 作業路整備計画延長L=1,050mに対し、L=711mの整備を行いました。 計画延長には達しませんでした。森林施業に必要な作業路の整備を効率的に行うことができました。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県の作業路標準単価を使用しているため、他市と同水準での事業実施であると考えます。
有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	<ul style="list-style-type: none"> 作業路の整備により、林業機械(搬出・運搬)の導入が可能となることから、森林作業の効率化、生産性の向上につながる有効な整備を行うことができました。
効率性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である(C)	A	左記判断理由	<ul style="list-style-type: none"> 森林施業に従事している森林組合に本事業を委託しているため、効率的に実施することができました。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> 事業を実施するためには地権者の同意が必要であることから、整備箇所により地権者数が多数となり、同意を得る作業に時間を要します。
次年度以降の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、作業路の整備を計画的に推進するため、委託先と事業執行の調整を図り、森林施業に有効な作業路の整備を進めます。
所管部長による総評	<ul style="list-style-type: none"> 本市が保有する森林の安全で快適な自然環境の提供と、保安林としての豊かな水資源の確保など、公益的機能を確保するため、適切な管理施業を継続的に実施する必要があると考えます。 このため、作業路の整備は必須であり、今後も計画的に本事業を推進していく必要があります。